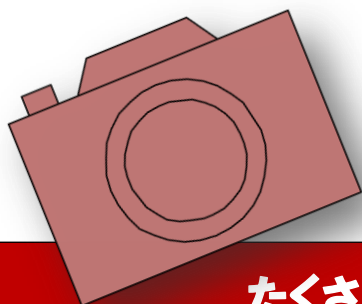


主 催： 祖母傾ユネスコエコパーク大分・宮崎推進協議会

祖母傾・大崩山系フォトコンテスト 2016

入賞作品



募集期間

2016. 7.22 ▶ 10/19

たくさんのご応募ありがとうございました。

祖母傾ユネスコエコパーク大分・宮崎推進協議会では、ユネスコエコパーク登録に向けた機運の醸成や各種取組みをPRするとともに、祖母傾山系の魅力を発掘し、地域内外にその魅力を発信していくことを目的として、「祖母傾・大崩山系フォトコンテスト2016」を実施し、応募作品を審査した結果、次のとおり入賞作品を決定しました。

※ 審査並びに審査結果に関する問い合わせには答えかねますので、ご了承ください。

祖母傾・大崩山系フォトコンテスト 入賞作品展示

日 時：平成28年11月26日（土） 13時00分 ~17時00分

会 場：ホテルますの井（大分県豊後大野市三重町市場95）



【特別審査員：全体講評】

祖母傾・大崩山系フォトコンテストに沢山のご応募を頂きありがとうございました。
応募作品全体の印象としては、四季折々の自然の美しさや厳しさが捉えられ、彩りも美しく、自然を見つめる作者の視点がそれぞれに優しく、繊細な作品が多かったように思います。

そこには、自然との調和の中で生きる人々の素朴な暮らしがあり、五穀豊穡を願い、先祖代々から受け継がれてきた伝統芸能がありました。どの作品からも自然に溶け込むように撮影された作者の深い眼差しが感じられて、自然界への畏敬の念と共に、季節の空気感や風の感触などその場に居合わせた者だけが撮ることのできる、かけがえのない瞬間が鮮明に切り取られていました。

応募作品から多くのことに気づかされ、改めてこの地域の自然が育む懐の深さを再確認しました。

作品全体のレベルが高く、甲乙つけ難い中で上位入賞者9点を選び出すのに選者として本当に苦労しました。入賞者の作品を通して、多くの人々にこの地域が持つ普遍的な価値を知って頂き、身近に感じて頂くことは、ユネスコエコパークへの登録を目指すという大きな目標を達成するための強い推進力となります。

今回選ばれた作品たちが、未来に向かってこれから果たしていく役割は非常に大きいと確信しています。



写真家 黒木 一明 氏

(特別審査員 写真家 黒木 一明 氏)

※ 審査並びに審査結果に関する問い合わせには答えかねますので、ご了承ください。

【 最優秀賞 】(1点)



最優秀賞

タイトル「宇目町の雲海」

撮影者：深田 範雄 さん

(大分県豊後大野市)

撮影場所：佐伯市宇目

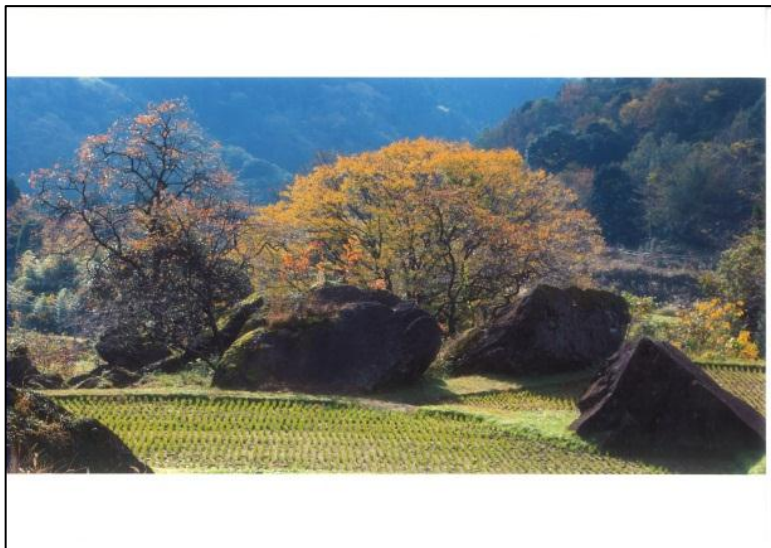
<審査員コメント>

誰が見ても美しく感じられる作品です。

雲海に覆われた山々が天空に浮かぶ島々のようです。フレーミングも安定していて、セピア調の温かい色調にも共感が持てます。近景の山々と遠くに連なる山々が詩情豊かに描写されて、作者の心情が伝わるいつまで眺めていても飽きない普遍性を持った作品です。

(写真家 黒木 一明 氏)

【 優秀賞 】 (2点)



優秀賞

タイトル「晩秋の土呂久」

撮影者：戸高 一 さん (宮崎県高千穂町)

撮影場所：高千穂町 土呂久

<審査員コメント>

棚田に点在する巨大な奇岩が不思議で印象的です。まるで自然が創造した日本庭園を見ているようです。すでに刈り取られた稲が季節の流れを感じさせます。晩秋の光に温もりが感じられ、その場の繊細な空気感がうまく表現されています。

紅葉も美しく、半逆光で撮影された光の選び方も的確です。

(写真家 黒木 一明 氏)



優秀賞

タイトル「天空の世界」

撮影者：鈴木 清次 さん (宮崎県小林市)

撮影場所：祖母山頂付近

<審査員コメント>

祖母山頂から撮られた荘厳な朝焼けの風景でしょう。空全体を覆ったうろこ雲の隙間から光芒が射して、神の存在を感じさせるような、スケールの大きな作品に仕上がっています。

全体の色彩も重厚で美しく、山の稜線の位置を低くして、空に浮かぶ雲を大胆に取り入れたことで画面に深い奥行きが生まれています。

(写真家 黒木 一明 氏)

【 佳作 】(6点)



佳作

タイトル「ウズメの舞」

撮影者 : 甲斐 靖一さん (宮崎県延岡市)

撮影場所: 高千穂町岩戸

<審査員コメント>

舞い手の繊細な一瞬の動きを捉えたシャッターチャンスが見事です。

ウズメの表情、衣装のブレ具合など、あらかじめ出来上がりのイメージを持っていないければ撮れない作品です。スローシャッターとストロボを併用したことで、舞い手の華麗な動き、残像が象徴的に写し出されています。

(写真家 黒木 一明 氏)



佳作

タイトル「清婉 (せいえん)」

撮影者 : 渡辺 太郎さん (大分県大分市)

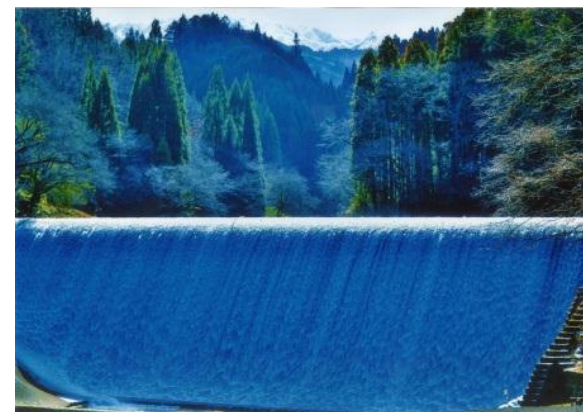
撮影場所: 祖母山中腹

<審査員コメント>

満開のアケボノツツジが、曇り日にしっとりとして優しく作者の情感を込めて表現され、的確な露出で微妙な色調を出すことにも成功しています。

背景のグレーのボケ味も花の色にマッチしています。作者の自然への思いが素直に見る側に伝わってくる作品です。

(写真家 黒木 一明 氏)



佳作

タイトル「白水」

撮影者 : 足立 哲伸さん (大分県豊後大野市)

撮影場所: 竹田市白水

<審査員コメント>

ダムから流れ落ちる水の模様の一つ一つが造形的で不思議な感覚を覚え、想像力を掻き立ててくれる作品です。じっと見ていると筆で描かれた森の重なりのようにも見えてきます。

背後に見える雪をかぶった山々の存在も冬の凛とした季節感を感じさせてくれます。

(写真家 黒木 一明 氏)



佳作

タイトル「大自然の力」

撮影者：長友 一彦さん（宮崎県新富町）

撮影場所：延岡市 大崩山

<審査員コメント>

午後の強い光が巨大な岩肌に当たり、ごつごつとした岩の質感がしっかりと表現されています。自然の豊かさをストレートに感じさせてくれる作品です。

岩の上に立っている二人の人物の存在も効果的で、いかに岩山が巨大であるかが推測できます。不思議とどこか外国の風景を見ているようです。

（写真家 黒木 一明 氏）



佳作

タイトル「深山幽谷の春」

撮影者：馬場 和久さん（宮崎県延岡市）

撮影場所：日之影町中川集落

<審査員コメント>

日本昔ばなしに出てくるような日本の原風景を思わせるまさに春爛漫の風景です。

菜の花、チューリップ、ヤマザクラが今や遅しと咲き誇り、自然界の全てのものが生へのエネルギーに溢れ、短い春を満喫しているかのようです。

春の穏やかな光が感じられて、人の心を和ませてくれる作品です。

（写真家 黒木 一明 氏）



佳作

タイトル「クマタカ」

撮影者：高萩 和夫さん（宮崎県延岡市）

撮影場所：日之影町見立

<審査員コメント>

絶滅危惧種にも指定されているクマタカを発見すること自体大変な苦勞だったと思います。

クマタカが緑の森を悠然と飛翔する姿が美しく捉えられていますが、この瞬間はなかなか簡単に撮れるものではありません。

クマタカを追いかける作者の執念に感動さえ覚えます。

広げた翼にピントがきているので、クマタカ特有の羽の縞模様も鮮明で、生態を知る上でも貴重な作品です。

（写真家 黒木 一明 氏）